

拠出金名: 第3回世界気候会議への拠出金

国際機関等名	世界気象機関 (英文名称・略称) World Meteorological Organization (WMO)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	国土交通省気象庁総務部企画課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千スイスフラン)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成21年度	60,754	660		1スイスフラン = 92円	0
平成20年度	-	-		-	-
平成19年度	-	-		-	-
当該拠出金の目的・用途等	第3回世界気候会議の開催				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年及び2009年の合計)				国際機関等の財政(注2) (2009年度決算)	
	国 名	金額 (千スイスフラン)	拠出率(注1) (%)	当該年度の収入 75.3百万スイスフラン 当該年度の支出 68.0百万スイスフラン 次年度への繰越 7.3百万スイスフラン	
1位	スイス	1,400	31.0	会計検査機関名 National Audit Office (現在の構成員の出身国: 英国)	
2位	日本	660	14.6		
3位	アメリカ	524	11.6		
4位	ドイツ	244	5.4		
5位	欧州委員会	228	5.0		
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
世界気象機関(WMO)は世界の気象事業の調和的な発展を目指し、気象観測・通信・データ処理等の気象業務の基盤に係わる世界的なネットワークを構築するとともに、同機関の枠組のもと、気象業務の発展に資する国際共同研究の推進等、国際的な調整機能を果たしており、我が国の気象業務を推進する上で重要な役割を果たしている。昨今では、気候変動問題に関連して、気候の観測・監視をはじめ、予測、適応等の幅広い分野で積極的に貢献している。					
邦人職員数 うち幹部以上	6 人 うち 1 人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	約 140 人 約 4.3 %		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
開発協力・地域活動部 アジア南西太平洋地域室長		戸矢 時義		元気象庁職員	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
気象庁長官及び、在ジュネーブ国際機関日本政府代表部大使からWMO事務局長に対して、日本人職員のさらなる登用に向けて要請を行っており、昨年度より、邦人職員は1名増加している。今後も機会をとりえて働きかけを行う方針。					

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(注2) 「国際機関等の財政」欄は、世界気象機関の一般会計の収支を記載している。